



▲施政方針を発表する市長

**市長の施政方針
都市基盤整備、
教育施設整備を
優先的に実施**

2月22日の日曜日に開会した3月定例会は、初日延べ43人の市民が傍聴するなか、市長の施政方針から始まりました。市長は平成21年度の施政方針で、世界的な景気の減速のなかで新規事業は必要最小限とし、市民ニーズを的確に捉え緊急性の高い既存施設の改修や、区画整理など都市基盤整備及び教育施設の整備を優先的に実施すると述べました。

3月定例会

**日曜日開会に
多くの市民が傍聴**

**定額給付金の追加補正予算は可決
一般会計当初予算は否決**

平成21年3月定例会は、7年ぶりに日曜日開会となりました。初日は、市長の施政方針とこれに伴う質疑が行われ、4人の議員が質問に立ちました。また、会期中に定額給付金の支給に伴う補正予算が追加提案され、可決されました。しかし、一般会計当初予算は賛成議員10人、反対議員11人で否決されました。

**定額給付金の追加補正予算
全会一致で可決**

早期支給と安全対策を要望

今会期中、子育て応援特別手当と定額給付金の支給のため12億2569万円増額の補正予算案が提出されました。これに対し、7名の議員が質問に立ち、支給に伴う市の取り組み体制や、振り込め詐欺対策、業務委託料に関する質問を行い、早期

に給付金等の支給と、万全の安全対策を要望しました。最後に採決し、全会一致で可決されました。



介護保険事業

保険料率を引き下げ

平成21年度から23年度までの第4期介護保険事業計画期間における65歳以上の人（第1号被保険者）の保険料率を引き下げます。

これは、今まで保険料率は7段階に分かれていましたが、こ

れを8段階に分け、さらに各段階の保険料を引き下げるもので、今後ますます高齢化が進むなか「元気高齢者の多いまち」を目指し介護保険事業を推進していきます。

**指定管理者の
随意選定要件を整備**

市内公共施設の管理を行う団体として、①施設周辺の地縁団体に管理を行わせるとき、②PFIにより整備し管理する団体が既に決まっているとき、③現在の管理者を再指定するとき、この3つのうち、いずれかの要件を満たすことを新たな選定の要件と定め、条例の一部を改正するものです。



▲7年ぶりの日曜議会に多くの傍聴者が来場しました

一般会計当初予算を否決

市議会は、平成21年度一般会計当初予算案を賛成10、反対11の賛成少数で否決しました。当初予算案は、総額204億800万円で前年比7.7%の減で上程され、総務常任委員会と市民建設常任委員会で否決、文教厚生常任委員会では可決されたものの、本会議上で「職員側の財政上の危機意識が薄い」「生活密着型予算となっていない」などの反対意見が出されました。また、賛成意見としては「市内業者への工事発注などが遅れ経営圧迫につながる」などの意見も出しました。当初予算が否決されたのは、市制発足以来初めてのことで、3カ月以内に臨時会が開かれ、本予算が審議されます。

**新倉児童館建設工事請負契約
1億6527万円を可決
(株)佐伯工務店が落札**

昨年12月定例会で、工事費5281万円の増額補正をしてきた新倉児童館の建設工事については、一般競争入札で3社の入札があり、設計金額を超える入札業者があったことに議員からの指摘がありました。契約金額1億6527万円を落札した(株)佐伯工務店と契約することを可決しました。

**補正
予算**

平成20年度補正予算に関する7議案を可決しました。

○は歳入、●は歳出

会計別	補正額	補正後の総額	主な内容
一般会計	12億2,568万7千円	240億4,870万5千円	定額給付金支給事業
	1億8,858万5千円	242億3,729万円	○清掃センター火災（災害共済金） ○土地売却収入 ●駅北口区画整理に伴う用地取得費 ●基金積立
特別会計	国民健康保険	2,287万9千円	○基金繰入金 ●療養給付費の増額
	後期高齢者医療	▲1,274万2千円	●広域連合負担金の減額
	老人保健	▲1億9,726万3千円	●医療給付費の減額
	介護保険	3,479万5千円	○介護従事者処遇改善臨時特例交付金 ●介護従事者処遇改善臨時特例基金積立
	下水道事業	▲7,919万円	●工事の減少

**公平委員の選任
3氏を同意**

3月10日の任期満了に伴う和光市公平委員会委員の選任について、次の3氏の選任について同意しました。

- 山崎宏征氏（下新倉在住）
- 二階堂享子氏（本町在住）
- 田中敏雄氏（丸山台在住）

※公平委員会の主な仕事

職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する措置の要求を審査し、判定し必要な措置をとることや、職員に対する不利益な処分についての不服申し立てに対する採決、または決定すること。



3月6日から12日までの5日間に、市政に対する一般質問が行われました。今回は18名の議員が発言しました。議員の質問の概要は次のとおりです。詳細な質問および市長以下関係部長の答弁は、6月上旬、市ホームページから見るができます。(発言順)

施政方針について

並木修二（和光を良くする会）

問…施政方針には、人件費の削減について記述がない。一般職員の給与の前に市長の給与を引き下げ、人件費の削減を図ること



市長…今の段階では、人件費の削減は考えていません。今後、人件費を下げなければならぬ時期がくれば、対応していきたいと考えています。また市長の給与等については、必要があれば特別報酬等審議会に意見を求めていきたいと考えています。

このほか、一般会計予算の内容、政策会議のあり方、教育委員会の意思決定のプロセスについて質問をしました。

学校の施設と再編について

堀文雄（緑風会）

問…現在の学校の規模・配置について、どのように認識しているか。また、「まちづくり」の面から学校の再編と新設校の位置についてどのように考えているか。

教育長…小学校の学級数は、12学級から18学級以下を標準とする。ただし、特別な事情がある場合はこの限りでない。と示され、この規定は、中学校においても準用されています。通学距離やまちづくりに伴う開発、少子化による児童・生徒数の変化等、学校を取り巻く環境の変化を十分考慮しながら中長期的に取り組む必要があると考えています。

このほか、複合施設と学校、下水道事業の公営企業化、朝霞駐屯地の汚水処理について質問をしました。

市民意見・要望等の公開公表について

須貝郁子（新しい風）

問…既に行われているホームページの公表を拡大し、紙ベースで情報公開コーナーに設置すること、さらに人事や契約等市政への透明性を図るため、市職員への不合理な直接要望に対応する「要望記録公表制度」の創設を

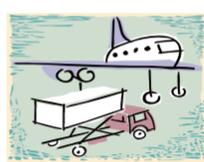
企業部長…市民の意見、要望等を情報資料コーナーへ設置することについては、早急に対応するようにします。要望記録公表制度については、個人情報取り扱いについて問題があるので、今後制度の実態を調査した上で検討します。

このほか、湧水、地下水保全条例、農地の保全、障害者福祉計画、小中学校施設の維持管理などの質問をしました。

請願

今議会に提出された請願は1件、陳情は5件ありました。

■請願第1号
ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願（不採択）



ミニマムアクセス米の輸入を停止し、食料自給率を向上させることを実現する意見書を政府関係機関に提出することを求めます。

■陳情第1号
国籍法改正によって生じる問題に関する陳情（不採択）

国籍法改正によって生じる偽装認知の防止、厳格な制度運用を要請する意見書を国会または関係行政庁に提出してください。

■陳情第2号
年度別和光市新人一般事務職員の採用者数を検討していただくための陳情（不採択）



今後は財政の悪化も予測される和光市としても、人件費削減を重要課題とし、新人一般事務職員数の年度別採用計画を再度、念入りに検討していただきたい。

教員免許更新制について

山本軍四郎（社会民主党）

問…教職員組合は社会的に重要なパートナーとして位置づけられていると思う。また豊かな人生の形成にかかわる仕事と考えている。今回の教員免許更新は上意下達方式ではないか。



教育長…この制度の導入は、法に基づくもので、教員の専門性を向上させるための制度として認識しています。以前、暴力の問題が学校現場で多く起こっていたことがあり、この問題にどう対応していくかという

ことで、最新の情報などを吸収していかなければ対応できないといった面は理解できます。このほか、国際課税、河川改修工事、緊急雇用対策、定額給付金、無保険（子ども）について質問をしました。

3月1日～8日は「女性の健康週間」女性の健康支援に全力を

村田富士子（公明党）

問…女性健康パスポートの発行、乳がん・子宮がん検診受診の更なる啓発、妊婦無料健診を14回に拡充など、女性の健康支援に積極的な取り組みを。

保健福祉部長…平成21年度は和光市健康手帳ファイルを配布し、今後、このパスポートのニーズを見極め検討します。乳がん・子宮がん受診率は県平均を上回っておりませんが、日によって受診科目が違うような形をやめ、より受診しやすいような対応を図ります。妊婦健康診査公費負担の回数を14回に拡充することについては、県と調整段階にあります。

このほか、食育、自殺予防対策、消火栓設置基準の見直し等について質問をしました。

歳出（地方債）の圧縮を

齊藤秀雄（新緑会）

問…地方債の償還において、2.5%の借入金については低利への借りかえを。また、償還は当初の3年間は据え置きとなっているが、借入金返済（元本）の開始時期の圧縮を。

総務部長…借りかえのための償還には、元金償還と合わせて満期までの利払いに相当する額を補償金として納付しなければならぬため、事実上不可能な状況です。また、据置期間は、政府融資は借入れ条件が規定されており条件を変えることはできませんが、金融機関からの融資は財政状況や後年度に及ぼす影響を十分勘案し、適正な条件を設定します。

このほか、砂利敷市道の早期修復の質問をしました。

父子家庭にも児童扶養手当の支給を

上野君子（共産党）

問…母子・父子家庭という配偶者のいない「ひとり親家庭」が増えている。父親の子育てへの社会的な理解の遅れもあり、労働条件が制限され低賃金の仕事に就かざるを得ない。国が制度見直しに動かない中、他自治体では父子家庭にも児童扶養手当と同様の手当を支給している。市でも実施を。

保健福祉部長…現状では、児童扶養手当の支給はできませんが、県の補助事業としてひとり親家庭等の医療費支給事業があります。父子家庭の場合、生活面での支援の重要性が高いことから、必要に応じて育児支援、家庭訪問事業による支援をまいります。

このほか、福祉行政、防災対策などについて質問をしました。

生産緑地の追加認定と農業振興から今後の取り扱い

西川政晴（新しい風）

問…農地は緑地並びに市民の食の安全に寄与し、緑地保全・環境保全・育成などから農地の価値は一層高まっている。しかし、和光市での追加事業が確立しておらず、時代に即していない。よって「生産緑地法」施行後の経過と、認定基準の今後と農地の多面的な活用を促進することから、今後の取り扱いを。

建設部長…都市環境の向上を積極的に図るため、今後も追加指定を継続します。

市民環境部長…優良農地の保全に有効であることから、追加指定の継続を希望し、今後の農業政策に繋げていきます。このほか、都市計画から住宅政策、景観条例などの質問をしました。

9 学校に関する陳情・要望に対する市長の現状認識

柳下長治（緑風会）

問・昨年、小・中学校建設の陳情が議会に提出され全会一致で採択された。確かに白子小学校、新倉小学校の児童数は多く、市長は陳情に対して理解を示すだけではなく結果を出すことが求められている。しかし市長からも発信されないため陳情者は不安を感じている。市長の現状認識を問う。

市長・区画整理事業が駅北側で進むことを考えると、市全体のバランスから新設校の必要性が生まれてくると考えています。今後は教育委員会の議論の結果や、総合的なまちづくりの観点から判断をしていきます。

このほか、区画整理事業、防犯に強いまちづくりなどの質問をしました。

14 小中学校における保護者の負担経費の軽減を

熊谷二郎（共産党）

問・小中学校の消耗品費・教材備品費は、昨年と比べて若干減少している。また、小学校の学級費や中学校の教材費のうち、義務教育は無償である点と保護者の負担を軽減するため、公費扱いとなるものはないのか。

教育部長・財政的に、高額な備品の要望にはこたえられませんが、確かに学級費と公費負担の重なる部分があります。この辺の経費については、できる限り公費で負担できるように検討をしていきたいと考えます。

このほか、教員免許更新制度の問題点、校舎等施設工事後の不具合、生活保護や生活福祉金貸付制度、公施設指定管理者制度などの質問をしました。

10 アーバンアクアを市民参画で子どもの遊べる場所へ

井上航（新しい風）

問・アーバンアクア計画について、市民の参加者の枠を広げたワークショップを通して、芝生化や冒険遊び場、ビオトープなど子どもの遊べる場所を整備するような計画に見直してはどうか。



建設部長・アーバンアクアは、運動施設のある都市公園として計画してきました。新たな発想については可能性を検討しますが、厳しい財政状況のなか、今までの経過を尊重しつつ、将来の維持管理の負担も考え市民や利用者団体の方々と一緒に検討しながら施設整備を行っていきたいと考えています。

このほか、子ども議会の開催、総合体育館の利用状況などの質問をしました。

15 エコ及び中長期的な施設維持の観点に立った仕様を

阿部かをる（公明党）

問・施設整備の際には、和光市第二次地球温暖化防止実行計画を基本に、環境負荷の軽減やライフサイクルコストを視野に入れた基準を明確に位置づけ、設計等の仕様書を作るべきではないか。



総務部長・公共工事の設計等には、長期間使用が可能な材料の利用、電気・機械設備の省エネルギー仕様等の導入、環境に配慮した作業用機械の使用など、環境配慮基準の仕様書を発注する担当課で作成できるように整備をしていきます。

このほか、区画整理事業、景観条例及び景観計画策定、調整区域の景観保全についての質問をしました。

11 副都心線の開通に伴う交通需要の変化とまちづくり

斉藤克己（公明党）

問・和光市駅利用の需要をどのよう予測するのか。和光市駅を中心としたにぎわいはまちづくりの最大の要素であり、さまざまな需要に対応した施策展開を。

企画部長・副都心線の開通に伴う、駅周辺道路の混雑、駅の乗降客数の増、バス利用者の増は予測よりも多いものでした。今後、鉄道やバスの乗車人員等の動向に注意し、市内の交通事情、駐輪、駐車場の利用者等の動向を検討しながら生活道路・歩道を含めた基盤整備など、第四次総合振興計画の中で施策の推進を図っていきます。

このほか、防犯リーダーの育成などの防犯対策、スポーツ施策の充実などの質問をしました。

16 生活困窮問題と福祉施策の充実を

吉田けさみ（共産党）

問・社会保障と税制は、平等な社会を築くための制度であるはずが、「構造改革」によって医療費の負担増、年金給付の削減、自立支援法、税制改悪など収入の低い人ほど負担が増え生活困窮者を生みだしてきたと思うが認識を問う。

市長・国の改革により変更された制度は、市としても確実に実行しなければならぬものです。しかし市民を守るためには、国の制度の中で、どの程度カバーできるものがあるのかについては配慮をしてきたと考えています。

このほか、市民の生活実態調査の緊急実施、就学援助制度の周知、葬祭場建設とPFI導入の問題、障害者自立支援などの質問をしました。

12 教育委員会の実態とその改革は

荻野比登美（和光市民ネット）

問・教育委員会は教育に関する決定機関で、追認機関ではない。改正された地教法の目的は、教育委員会の責任体制の明確化にある。地教法、教育長への委任事務規則違反ではないか？改革への取り組みを問う。

教育長・教育委員会には、予算に対する権限がないため、現在事務局長が市長部局と予算折衝を行った後に年度計画の報告をし、それを承認しているのが実態であります。教育委員会の主体性・独自性から明確な教育方針を先に決定した中で予算を決定していくような手順に改善していきたいと考えています。また、教育委員の人数をふやすことなく各委員が適切な判断・決定ができるよう自覚を深めていくことが大切と考えています。

17 駅北側の道路、特に県道の歩道の改善を

松本武洋（新しい風）

問・駅北口の土地区画整理区域では、30年以上道路の整備がおくれている。特に優先区域外の県道の歩道は整備がおくれない可能性が高いため、市が用地を確保してでも整備を推進すべきではないか。

建設部長・区画整理区域内の県道整備は、県土整備事務所に要望していますが、区画整理事業との一体的な整備が基本ということでおくれています。また区域外の県道に市単独による歩道の整備は財政負担が大きいため、今後も継続して要望するとともに整備方法を慎重に検討します。

このほか、緑化の推進、学童保育・保育園の待機児対策、小学校通学路の安全対策、北口と南口の投資格差などの質問をしました。

13 金融危機での生活や事業の安心、安全の確保策の充実を

菅原満（民主党）

問・金融危機に関して、市内において「相談件数が少ない」からといって問題を抱えている人がいないことはない。相談先が分からない、諦めではないが相談をしない事例もあるのではないかと。市内の勤労者、離職者への労働相談、事業者への支援体制の充実を行う必要があると考えるがどうか。

市民環境部長・相談に来たくても来られないような、市民を救済する啓発は十分にやっています。また、商工会の相談体制の充実と併せ、県のふるさと雇用再生基金事業の活用で支援するための対策も進めています。

このほか、今後の財源見通し、財政収支推計の作成などの質問をしました。

18 憲法を生かす平和共存の道を

佐久間美代子（共産党）

問・多くの犠牲者を出したイラク戦争は、間違いだった。しかし、政府は反省もなく、国民投票の準備予算を計上している。ノーベル物理学賞受賞の益川教授は、「改憲派の狙いは兵器を自由に使うため」だから憲法を守るべきと講演している。三選をめざす市長に憲法9条の見解を問う。

企画部長・市民とともに、命の大切さ平和の尊さ、戦争の悲惨さを考える機会となる平和事業の実施は大変重要で、引き続き、平和な社会の実現に向け充実に努めます。

市長・日本の持っている憲法の平和主義は、守るべきと考えています。このほか、緊急経済対策、介護保険、新設校、地球温暖化対策についての質問をしました。

■陳情第3号
時折、一案件で800万円以上の財政支出を要する高額な市民意識調査費に関する陳情（不採択）

市民意識調査実施の際は、費用対効果とアンケート内容を詳細に吟味した上で実施してください。

■陳情第4号
交通安全立哨指導員等、小学生通学の安全確保のための予算・施策の拡充を求める陳情（趣旨採択）

立哨指導員等は交通安全だけでなく、防犯上の見守りの観点からも、大きな役割を果たしており、減員ではなく、むしろ増員されるべきです。さらなる予算の拡充とともに配置箇所等、施策の拡充をお願いいたします。



■陳情第5号
各学校に生ゴミ堆肥処理機を設置して食品リサイクルシステム推進に関する陳情（不採択）

和光市環境基本計画や一般廃棄物処理基本計画では、環境負荷の少ない循環型社会の形成を目指しています。各学校に生ゴミ堆肥処理機を設置して、食品リサイクルシステムの構築を推進してください。



議案の結果

今定例会で審議された議案の採決結果です。報告・専決処分の承認・人事案件は除きます。

- : 賛成
- △ : 反対
- △ : 賛否両論のあった会派
- : 原案に賛成
- 退 : 退席

議員から提出された意見書案を可決し、意見書として、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣を初め関係大臣へ送付しました。



市長提出議案	会派名	緑風会	公明党	日本共産党	新しい風	和光市民ネット	和光を良くする会	社会民主党	新緑会	民主党	議決結果
和光市介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて		○	○	×	○	○	○	×	○	○	原案可決
和光市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例を定めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
市道路線の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第5号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度埼玉県和光市老人保健特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度埼玉県和光市介護保険特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度埼玉県和光市下水道事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市一般会計予算		△	○	×	×	×	×	○	○	○	否決
平成21年度埼玉県和光市国民健康保険特別会計予算		○	○	×	○	○	○	×	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市後期高齢者医療特別会計予算		○	○	×	○	○	○	×	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市老人保健特別会計予算		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市介護保険特別会計予算		○	○	×	○	○	○	×	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市下水道事業特別会計予算		○	○	×	○	○	○	×	○	○	原案可決
平成21年度埼玉県和光市水道事業会計予算		○	○	×	○	○	○	○	○	○	原案可決
工事請負契約の締結について(新倉児童館建設工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
和光市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて		○	○	○	△	○	○	○	○	○	原案可決
平成20年度埼玉県和光市一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
【請願・陳情】		緑	公	共	風	市	和	社	新	民	
ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願		×	×	○	×	×	×	○	×	○	不採択
国籍法改正によって生じる問題に関する陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
年度別和光市新人一般事務職員の採用者数を検討していただくための陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
時折、一案件で800万円以上の財政支出を要する高額な市民意識調査費に関する陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
交通安全立哨指導員等、小学生通学の安全確保のための予算・施策の拡充を求める陳情		○	○	□	○	○	○	○	○	○	趣旨採択
各学校に生ゴミ堆肥処理機を設置して食品リサイクルシステム推進に関する陳情		×	×	×	○退	×	×	×	×	×	不採択

児童扶養手当を父子家庭に拡大する事を求める意見書(可決)

現行の児童扶養手当法は、経済的に困難な母子家庭に対しては児童扶養手当が支給されていますが、父子家庭に対しては支給対象としていません。子供の福祉の観点から母子家庭

と父子家庭を区別することなく、ひとり親家庭に均等な経済的支援が必要とされています。さらに、国の男女共同参画社会推進の観点からも、母子家庭と父子家庭を区別することなくあらゆる施策に対し、平等に対象とする事が求められます。よって児童扶養手当を父子家庭に対しても支給することとする法律改正を早期に実現するよう強く求めます。

日曜議会開会から

7年ぶりの日曜日開催に、たくさんの方々に傍聴していただきありがとうございました。来場された方々から、いろいろなお意見をいただき、なかには、大変厳しいご指摘もありました。

今後、議会としてもこれらのご意見を真摯に受け止め、より一層の緊張感をもって改善に取り組んでまいります。

和光市議会議員一同

聴覚障害のある方へ

本会議の傍聴を手話通訳、要約筆記でどうぞ



耳の不自由な方で本会議の傍聴を希望される方には、手話通訳者または要約筆記者を手配することができます。

(派遣費用は無料です)

傍聴をご希望の方は、あらかじめ議会事務局庶務担当へご連絡ください。

■ FAX 463-2835

■ E-mail: i0101@city.wako.lg.jp

会派構成

- 緑風会** 堀、栗原、田中、野口、柳下
 - 日本共産党** 佐久間、吉田、熊谷、上野
 - 新しい風** 須貝、松本、井上、西川
 - 公明党** 阿部、村田、斉藤(克)
 - 民主党** 菅原
 - 和光市民ネット** 荻野
 - 和光を良くする会** 並木
 - 社会民主党** 山本
 - 新緑会** 斉藤(秀)
- 議長：山口(会派に属せず)

編集委員会

- 委員長 松本武洋
- 副委員長 吉田けさみ
- 委員 斉藤克己 栗原次男
- 山本軍四郎 菅原 満
- 野口 保 並木修二
- 斉藤秀雄 荻野比登美

6月 定例会の開催予定

6月11日	本会議開会 提案説明・議案質疑
16日	議案質疑
17日	常任委員会
18~23日	一般質問
25日	討論・採決・本会議閉会

開会時間は午前9時です。

傍聴

※正式な日程は6月9日(火)開催の議会運営委員会決定する予定です。請願・陳情の締め切りは6月8日(月)午後3時の予定です。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。 ☎ 424-9108 (ダイヤルイン)

6月定例会は11日(木)開会予定です